

公表

事業所における自己評価総括表 (令和6年9月)

○事業所名	夢んぼ		
○保護者評価実施期間	6年9月9日		～ 2006年9月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	6年9月9日		～ 2006年9月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	6年9月9日		～ 2006年9月18日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
	2006年9月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援に携わる複数のスタッフで訪問先の様子の情報共有を行い、支援について考えることができる。	・訪問スタッフと現場スタッフが密に連携をとって情報共有をしている。	・情報共有したことを直接支援に携わる職員が、今後の支援の統一に向けてしっかり取り組むことを意識していく。
2	・訪問支援事業を利用している子が、児童発達支援事業も利用しているため療育にリンクしやすい。	・療育にリンクしやすい観点から、スピーディーな支援の改善、トライもしやすいためすぐに事業所内で取り組むことを意識して行っている。 ・訪問先の施設の方に事業所での様子を見学に来ていただき支援のズレを少なくできるようにしている。	・事業所での様子をみていただく機会を積極的に発信し、より充実した支援になるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童発達支援事業に通所し保育所等訪問と併用しているお子さんはいるが、保育所等訪問のみで利用をし訪問に伺ったことがない。	・訪問支援事業としてのサービスの活用ができることへの発信力や、必要としている方がいないかの把握等。	・関係機関に保育所支援事業のサービスがあることへの周知をしていく。